

1 現状

三陸復興国立公園に位置する大船渡市は、基幹産業の漁業と工業を併せ持つ天然の良港を有している。学校統合後の使用が予定されている校舎は、その大船渡湾を全貌する絶好の場所に位置している。

末崎中学校・大船渡中学校両校の生徒は、養殖ワカメの栽培から販売までの活動や郷土芸能伝承活動等、県下にその成果が轟いている。また、『自ら主体的に学び』、『自ら学び続け』と目指す生徒像のもと、たゆまぬ努力をしつつ主体性・自主性を磨いてきている。

2 統合に寄せる思いと校名への願い

末崎・大船渡両地区が互いの立場を理解し合い、学校統合をすることにより生徒自身がこの中学校でなければ得られない価値を自ら見出して、地域を発展させ、大きく飛躍し広い世界に羽ばたくよう、夢と希望をもって学校生活を送ることを願っている。

大船渡という名は、市名として末崎町・大船渡町を包含し、どこでも、誰にでも、誇らしく思える名であると考えている。それは、私たちがこの市に生まれ、この市で生き、郷土愛に包まれてきた証であろうと考える。

新生『大船渡中学校』は、統合後もより一層特色ある教育を推進し、地域に根差した学校を目指すことにより、多くの人に認知され、喜んで応援される学校となることを期待している。さらに、生徒同士が協力し、市内外に誇れる学校になるよう常に高みを目指して、活躍し続ける事を念頭に置いている。

3 校名案

『大船渡市立大船渡中学校』

4 東日本大震災からの復興

東日本大震災から10年が過ぎようとしている。大船渡市は災害からの復興を進め、各町の課題に伴い、復旧・復興を進めてきている。大船渡市内の道路網が次々整備され、復興が加速される中、教育現場では、新しい教育に対応するための教育課程推進に力を尽くしてきた。

学校教育は、何人も等しく教育を受けることが大前提であり、多くの生徒・保護者が望むところである。適正規模の学校となることで、生徒のより良い教育が受けられ、その持てる能力を十分発揮できるようにすることが本協議会の大きな役割と考える。

この統合が完結し、新設学校に生徒の前向きな姿と笑顔が見られたとき、大船渡市の復興にその足跡を残すことになると思う。

令和2年11月24日

大船渡地区学校統合協議会